

事務事業名	コミュニティ助成事業補助金		所属部	掛合総合センター	所属課	市民サポート課
総合計画体系	政策名	〈I〉みんなで築くまち〈協働・行政経営〉		所属G	市民サポートG	
	施策名	〈01〉市民が主役のまちづくりの推進		担当者名	武田 章	
	目的・対象	市民	意図	まちづくりの課題を主体的に解決する。		
	基本事業	〈001〉まちづくり活動への参加推進		電話番号	0854-62-0300 (内線) 4503	
目的・対象	市民	意図	活動に参加・参画する。			自治振興総務管理事業
予算科目			会計	0:1:1:0	大事業名	自治振興総務管理事業
			科目	0:5:6:5	中事業名	コミュニティ助成事業補助金
				0:7	中事業名	コミュニティ助成事業補助金

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
(市)地域自主組織・自治会 地区住民(掛合町住民)	地域のコミュニティ活動の充実・強化 地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与する
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 ■ 単年度のみ □ 単年度繰返(年度 ~) □ 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用し、コミュニティ活動に必要な備品・施設等の整備を行う。 申請は前年度に行い、一般財団法人自治総合センターでの審査・承認が行われた事業に対し、翌年度に事業を実施する。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
(市)補助金の交付 (掛合自治振興会)既存神輿の老朽化に伴う修繕及び、装束の購入	地域社会の健全な発展と住民福祉に貢献する事業を目的に、自治会、地域自主組織からの申請により、コミュニティ活動に必要な備品、施設整備の補助金交付を行った。 地域の課題に対して効果的、柔軟に対応できるよう、日頃からの課題解決に向けての対話を行っている。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
A 過去1年間に地域活動に参加した市民の割合	%			59.8	
I 事業実施団体数	組織			1	
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)		② コストの推移		単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
補助金 2,500千円		財源内訳	国庫支出金	千円			0	
			県支出金	千円			0	
			地方債	千円			0	
			その他	千円			2,500	
			一般財源	千円			0	
		事業費計		千円	0	0	2,500	0

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	地域で課題解決に向けた取り組みを模索し、実践することにより、地域住民による主体的な地域の発展に向けた、地域づくりを行うことができる。 R4年度については、地域文化の伝承をとおして、掛合町の文化、伝統を再認識し地域への愛着、定住意識の醸成を深め、地域の伝統文化の継承及び地域活性化を行うとともに次世代の地域活動の担い手の育成を目指した取り組みを行うことができた。
② 事業実施するうえでの課題	地域課題については、それぞれの地域で中身が異なるが、補助金の交付は一般財団法人自治総合センターでの審査・承認によるもので、対象年度での申請状況や、申請内容により、必ずしも補助金を活用することができない。 また、補助金申請の翌年度の事業実施となるため、迅速な課題解決に向けた取り組みがしにくい部分がある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	事業実施のために参考となる他自治体の事例や事業実施に関するアイデアを収集し、地域自主組織、自治会と共有する。 日頃から、本事業PRや、地域との地域課題に対する対話や情報収集を行い、当事業の活用をスムーズに提案する。